

北陸新幹線小浜・京都ルートの1日も早い全線開業に向けて要望活動を行っています！

7/2 福井県・新幹線設置市・県議会・県内経済界中央要望

7月2日(火)に福井県や新幹線駅設置市、県議会、県内経済界とともに中央要請を行いました。県と駅設置市、県議会、経済界が一体となり「オール福井」で国土交通省等へ訪れ要望書を提出しました。

杉本県知事は「ルートは小浜・京都で決着済み。認可着工に結びつける年にしないといけない」と訴えました。

これを受け小鍵政務官は、「早く前に進むよう、しっかりとやっていきたい」と述べました。



▲小鍵政務官に要望書を提出

7/9 市・市議会北陸新幹線早期全線開業特別委員会中央要望

7月9日(火)に小浜市と小浜市議会北陸新幹線早期全線開業特別委員会で中央要望を行いました。

松崎市長と藤田議長、北陸新幹線早期全線開業特別委員会の小澤委員長が与党整備委員会の西田委員長を訪れ要望書を提出しました。

これを受け西田委員長は「環境の調査等を丁寧に行い、建設財源確保のための議論を前進させ、今年中のルート公表および25年度中の認可・着工に向けて進めていく」と述べました。



▲西田委員長に要望書を提出

11/14、15 市・市議会中央要望

11月14日(木)、15日(金)に小浜市と小浜市議会で中央要望を行いました。

藤田市議会議長、谷口副市長が国交省や与党整備委員会を訪れ、西田与党整備委員長らに要望書を提出しました。

要望書では、「敦賀・新大阪間の環境影響評価および北陸新幹線事業推進調査を迅速かつ着実に進めるとともに、令和6年末までの駅位置・詳細ルートの公表および令和7年度には認可・着工を行い、一日も早い全線開業を実現すること」、「貸付料の算定期間延長や国費の大幅な増額等により整備財源を確保するなど、着工5条件の早期解決を図り、開業までの期間を最大限短縮すること」、「JR小浜線は特急が運行されておらず、また、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないため、敦賀・新大阪間の整備に伴う並行在来線には該当しないことを明確にすること」の3点を要望しました。

これを受け西田与党整備委員長は、「早期全線開業実現のためには、年内に小浜・京都ルートの詳細を決定しなければならない。そのための取り組みを行っていく」と述べました。



▲西田与党整備委員長に要望書を提出

11/19 北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会中央要望

11月19日(火)に北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会が中央要望を行いました。

同同盟会会長の杉本市長をはじめとした、嶺南6市町の首長・副首長が国交省等を訪れ、古川国交副大臣らに要望書を提出しました。

これを受け古川国交副大臣は、「できるだけ早い着工、全線開業は我々の願い。早期全線開業に向けて、プロセスを進めていきたい」と述べました。



▲古川国交副大臣に要望書を提出

1/22 市・市議会北陸新幹線早期全線開業特別委員会中央要望

1月22日(水)に小浜市と小浜市議会北陸新幹線早期全線開業特別委員会で中央要望を行いました。

藤田市議会議長、市議会北陸新幹線早期全線開業特別委員会の委員をはじめ、谷口副市長、西本県議会議員、松崎県議会議員が国交省等を訪れ、国交省の足立官房審議官らに要望書を提出しました。

要望書では、政府の2025年度当初予算案への新規着工費計上が見送られたことを「誠に遺憾」とする一方、小浜市内の事業推進調査費が盛り込まれたことを評価し、早期の認可・着工に加えて国費増額の建設財源議論の加速や小浜線が並行在来線に該当しないことの明確化を求めました。

藤田議長は「小浜市にとってすべての項目が重要な要望」と訴えました。



▲足立官房審議官に要望書を提出

2/4 嶺南振興協議会商工部会中央要望

2月4日(火)に嶺南振興協議会の商工部会が中央要望を行いました。

商工部会の奥井会長をはじめ、小浜商工会議所の井田会頭らが国交省や与党整備委員会を訪れ、足立官房審議官らに要望書を提出しました。

要望書では、「沿線自治体および地域住民等に丁寧な説明を行い、理解促進に努めるとともに、敦賀・新大阪間の環境影響評価および北陸新幹線事業推進調査を迅速に進め、駅位置・詳細ルート公表および認可・着工を早期に実現すること」、「貸付料の算定期間延長や国土強靱化に資する部分について全額国費で負担するなど、財源の議論を具体化・加速し、着工5条件の早期解決を図り、一日も早い全線開業を実現すること」の2点を要望しました。

足立官房審議官は「京都や石川ではいろいろな報道があるが、方針は変わっていない。皆さんと力を合わせてがんばって生きたい。」と述べました。



▲足立官房審議官に要望書を提出